

激しい議論にドキドキ!



大石田小学校6年生が議会を傍聴

12月定例会3日目に、大石田小学校6年生45人が議会を傍聴しました。少し緊張した面持ちでしたが、熱心にメモをとり議論に耳を傾けていました。紙面の都合上12名の感想をご紹介します。

議会を見学して、皆さんが集中していることが伝わってきました。質問に対して、答える人は決断が速く、すぐに答えていました。議論されていることは、すべて大石田町に関する重要なことばかりで、みんな真剣に大石田のことを考えているんだなと感じました。三校が統合される議論のときは、子どもたちのことを考えてくださっていて、とてもうれしくなりました。町議会での話し合いを重ねることで、大石田町をよくしてくれているのだと思いました。ありがとうございます。

小林 泰雅

この議会は、私たちの町にとって、すごく大事ななあと感じました。一つのことに対して、長い時間をかけて質問したり、答えたりして議論を深めた結果、大石田町や学校などができていくと分かりました。私もこんな議論をして、意見をたくさん言いたいなと思いました。

鈴木 梨菜

議員さん方は、いろいろな意見を持ち寄り、質問されたことに対しても教育長さんなどが、すぐ答えを述べていてすごいと思いました。町民の意見も取り入れていきたいと、私たちのことまでも考え、思っていた以上に大変なんだということが分かりました。今回は、二つの議題についての議論でした。どちらの議題にも「町民」という言葉が出てきて、町民と町をととても大切に、議論をしてくださっているということに感謝したいと思いました。戸田 彩芽

ぼくは、傍聴していて、平成三十三年のころに、大小、北小、南小が一校になるという話には、おどろきました。でも、聞いているうちに、布川教育長さんが言ったように、通学などいろいろな心配な点があり、だいじょうぶかなと思いました。大石田町の未来を知ることができ、本当によかったと思いました。この議会のように、ちゃんと自分の考えをもって発表し、その意見には、すぐ対応できるような人になりたいと思いました。

大類 海斗

平成三十三年に三つの小学校が統合して、一つになると聞いたとき、小学校で友達になったらそのまま中学校に上がるので、友達をつくる楽しみがなくなるんじゃないかと思いました。でも、人数が少ないのなら仕方ないかなとも思いました。さらに、平成三十年に南小で複式学級ができるかもしれないということに、私は、そんなに人数が少ないかとおどろきました。他にも、大石田町でいろいろなことが起き、未来に向かっていろいろなことが変わっていくんだなと思いました。

伊藤 華菜

ぼくは、イメージしていたこととはちがいで、やわらかい感じで聞きやすかったです。最初の議題は、小学校統合についてでした。三年前に三校にしたことよって、学力がのびてきているというので、三校にしてよかったと思います。次の議題は複合施設の建設についてでした。福祉会館が古くなってきたので、複合施設をつくるのは、とてもいいと思います。議員さんたちは、未来のことを考えて話し合っていることが分かりました。

加藤 歩夢

ぼくは、議会見学を楽しみにしていました。大石田町の小学校の統合についての議論がありました。お互いの意見を取り入れているところは、さすがだと思いました。今までの伝統を受けついでいきたいという意見と、少子化だから統合した方がいいという意見の両方を合わせて結論を出していたので、納得できました。町民の意見を聞くことも、よりよい町づくりのために必要だと感じました。ぼくも、みんなの意見を聞いて、正しい判断ができるようになりたいです。

大場 駿

議会はとても静かな場所であると感じました。議会での意見交換を見学して、きちんと町民のことを考えていることが分かりました。また、自分の考えを述べたり、質問されたことにすばやく手を挙げて答えていました。ぼくも、議員さんや町長さんや教育長さんたちのように、質問されたことにすぐに答えられるようになりたいです。自分の考えを持って発言したり、質問したことに答えたりすることで、話し合いは深まっていくことが分かりました。

菊地 大樹

町議会では、小学校一校への統合、角二山遺跡、複合施設についての話し合いを見学させていただきました。町議会は、町民の代表者が、町をよくするために、とても大切な場所であることが分かりました。学校を一校に統合すると、町陸上競技大会や三校交流会がなくなるので、統合してほしくないと思っていました。しかし、だんだん子どもの数が減っているの聞き、仕方ないことだと思いました。町の様々な問題を解決するために、一人一人の意見が大切であることがわかりました。

石山 紅杏



議会を見学して、みんな自分の意見をしっかりと発言し、そして、大石田町のことを一生懸命考え、真剣に話し合っているんだなと思いました。学校のこと、教育のこと、自然のこと、施設のこと、これを全部話し合って決めることは大変だと思いました。でも、豊かな町にするために話し合わなければ、町は変わらないと思います。だから、議会で話し合うことは、大切なことだと感じました。私も、自分の意見を持ち、きちんと伝えるようにしたいと思います。

星川 絵里

討論の様子を見ていて、村形議員さんの質問、そして町長さんや教育長さんの発言に心を動かされました。いろいろな議題がありました。特に心に残っていることは、三校になった小学校を一校にするということです。様々な問題がある中で一校にするという決断は難しいことが分かりました。私は議会というものがあまり分かりませんが、よりよい町づくりを目指して、私たちのために話し合ってくれているということが分かりました。

加藤 美紅

ぼくは、最初、討論会みたいなことだと思っていました。でも、少しちがっていて、質問にもすぐ答えていたので、さすがだなと思いました。テレビなどで見るよりも本格的だと感じました。村形議員さんと布川教育長さんが、小学校統合について話されていて、難しいところもありましたが、大石田町をよくしたいという気持ちがよく伝わってきました。町議会は、町をよりよくするために話し合っていることが分かり、みなさんに感謝したいと思います。

二藤部 智輝

